

### ③農村計画学会 2019 年度秋期大会 ミニシンポジウム・プログラム

大震災復興特別委員会

#### 棚田地域の震災からの復旧・復興

—阪神淡路大震災，中越地震，長野県北部地震で蓄積された経験知の継承—

##### 趣旨

中山間地域の生産基盤であり農村景観としても重要な棚田。この棚田が地震被害を受けたとき、被害にはどのような特徴があるのか、復旧・復興対応はいかに行えばよいのか。開催県である長野県の栄村は東日本大震災の翌日に発生した長野県北部地震により被災し、多くの棚田が被害を受けた。この地域の復旧・復興には、阪神淡路大震災と中越地震の経験知が伝えられ活かされた。

災害からの復旧・復興に関する経験知の継承の重要性が提唱されて久しいが、実務者のみならず、研究者においてもその共有と継承が重要である。本ミニシンポジウムでは、阪神淡路大震災，中越地震，長野県北部地震で蓄積された棚田地域の復旧・復興に関する経験知を共有・継承することを目的とする。

日時：2019 年 12 月 1 日（日） 13：30～15：00

会場：長野大学

##### プログラム

##### 報告

1. 阪神淡路大震災，中越地震，長野県北部地震の経験知（仮題）  
木村和弘（信州大学名誉教授）
2. 長野県栄村での実践：専門家の立場から（仮題）  
内川義行（信州大学農学部助教）
3. 長野県栄村での実践：住民の立場から（仮題）  
樋口正幸（合同会社小滝プラス代表）

##### ディスカッション

コーディネーター 坂田寧代（新潟大学農学部准教授）

各報告の標題や会場など詳細に関しては、決まり次第ホームページにてお知らせします。